

プランセス PDF 印刷 Plus マニュアル

最終更新日: 2015 年 12 月 2 日

株式会社プランセス・PDF No Save サポート

1. 「(機能1) 許可するプリンターを限定する」の概要

パスワード制御機能がメインの目的でご購入いただいている場合も、本機能は使われることを強くお勧めします。

また、基本的にはブラックリスト方式をご利用ください。イントラネットでご利用で、全社で使っているプリンターのメーカー・機種などが特定される場合のみホワイトリスト方式を選んでください。

ブラックリスト形式のうち、デフォルトで4つチェックボックスが付いているかと思いますが、特別な理由ない限り、このチェックは外さないでください。

☒ (機能1) 許可するプリンターを限定する

この機能1はWindows専用です。Macでは動作しません。機能2や機能3はMacでも動作します。

☒ ブラックリスト方式を使用する

☒ プリンター名(プリンタードライバー名)に「PDF」が入っている場合はエラーにする。(強く推奨)
ex. 「CubePDF」「Foxit Reader PDF Printer」「Antenna House PDF Driver」「PrimoPDF」「Microsoft Print to PDF」(Windows 10)などが対象となります。

☒ Microsoft XPS Document Writerの場合はエラーにする。(推奨)

☒ 「Send To OneNote」の場合はエラーにする。(推奨)

☒ 「Snagit」の場合はエラーにする。(推奨)

禁止したいプリンター名(プリンタードライバー名)の名称(一部で御いません。)を改行区切りでご入力ください。よく分からない場合は、触らないでください。

PDF
Microsoft XPS Document Writer
Send To OneNote
Snagit

※ 大文字・小文字の区別はしません。

☐ (機能1) ホワイトリスト方式を使用する
イントラネットでご利用で、会社で導入しているプリンターがCanon(Epson/Brother/HP)のみだと分かっている場合など。
許可したいプリンター名(プリンタードライバー名)の名称(一部で御いません。型番が限定できる場合は型番まで入力されていいです。)を改行区切りでご入力ください。入力されたプリンター名は「or検索」で全て許可されます。該当しないプリンター名での印刷は全てエラーになります。

≪ メニューに戻る © 株式会社プランセス 2012-2015 一つ前のステップに戻る

追加で禁止されたい場合は、プリンター名もしくはプリンタードライバー名の名称の一部で構いませんので、テキストエリアに**改行区切り**で入力してください。変に特定の機種名やバージョン番号までを入力されると一文字違いでエラーにならないなどのトラブルが発生する可能性があります。

プリンター名やプリンタードライバー名に日本語（Shift_JIS に含まれる漢字）が含まれていても OK です。アルファベットに関しては、大文字小文字の区別はありません。全角半角の区別はありません。

デフォルトで禁止した方がいいという文字列のご提案がある場合は、是非お知らせください。

なお、**本機能は Windows 専用です**。Mac では動作しません。Mac 版 Adobe® Reader では、プリンターチェックは行われずに印刷されます。

2. 「(機能2) 印刷の前にパスワードを入力させる機能」の概要

パスワードを知っている人のみ印刷できるようにできます。各種エラーメッセージはカスタマイズできます。

☒ (機能2) 印刷の前にパスワードを入力させる

そのパスワード:

パスワードの入力を促すプロンプトのタイトル(右画像の①部分):
印刷用パスワード

パスワードの入力を促すメッセージ(右画像の②部分):
印刷のためにはパスワードの入力が必要です。印刷するには、パスワードを入力してOKボタンを押してください。

入力されたパスワードが間違っていたときに表示するエラーメッセージ:
パスワードが間違っています。印刷できません。印刷をキャンセルしてください。
キャンセルされない場合、エラーメッセージのみ印刷されます。

警告: JavaScript ウィンドウ 印刷用パスワード
印刷のためにはパスワード入力が必要です。パスワード入力後、OKボタンを押してください。
OK キャンセル

警告: JavaScript ウィンドウ
パスワードが間違っています。印刷できません。印刷をキャンセルしてください。
キャンセルされない場合でも、エラーメッセージのみ印刷されます。
OK

☒ (機能3) 印刷イベント終了後、ログ取得ページに飛ぶ

ログ取得ページのURL:

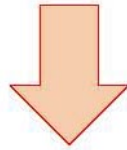
※ PDFから見た相対パスや絶対パスをお勧めします。PDFと同じディレクトリに置かないでください。また、異なるサーバへアクセスする設定も不可です。

※ WEBサーバでのご利用時のみご利用いただけます。

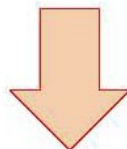
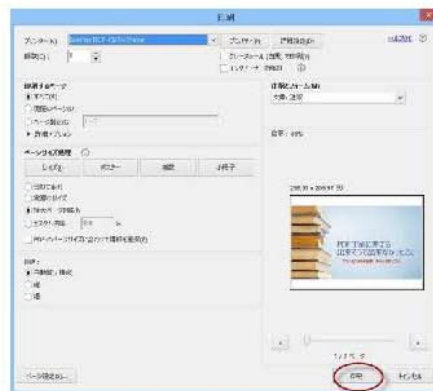
<< メニューに戻る © 株式会社プランセス 2012-2015 一つ前のステップに戻る

以下のような動作イメージになります。

ユーザーがPDFを印刷しようとする



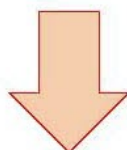
印刷ダイアログが表示されます。印刷ボタンをクリックします。



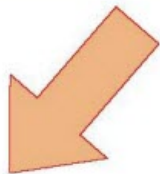
PDF作成用ソフトのプリンタードライバーなど
好ましくないプリンターが指定されている場合
は、まず、この段階でシャットアウトできます。

印刷のためのパスワードを聞かれます。

ダイアログの文言はカスタ
マイズしていただけます。

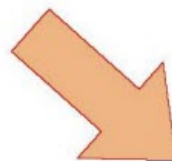


正しいパスワードを入力する。



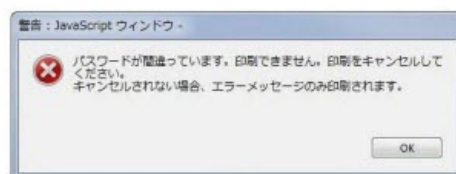
普通に印刷されます。

間違ったパスワードを入力する。



エラーメッセージが表示され、印刷を続けても、エラーメッセージや空白ページしか印刷できません。

エラーメッセージはカスタマイズしていただけます。→



3. 「(機能3) 印刷イベント終了後、ログ取得ページに飛ぶ」の概要

イントラネットでご利用の場合で、印刷を許可したいけれど一応管理したいということでログを取得したい場合、この機能をご利用ください。

印刷イベント終了時に、指定された PHP ページなどに転送することができますので、データベースに記録するなどしてください。

(機能3)印刷イベント終了後、ログ取得ページに飛ぶ

ログ取得ページのURL: /print_log.php

※ PDFから見た相対パスや絶対パスをお勧めします。PDFと同じディレクトリーに置かないでください。また、異なるサーバへアクセスする設定も不可です。

※ WEBサーバでのご利用時のみご利用いただけます。

次のステップへ-->

<< メニューに戻る © 株式会社プランセス 2012-2015 一つ前のステップに戻る

●取得可能な内容

1. プリンター(プリンタードライバー)名
2. PDF のファイル名(セキュリティ上の理由から、有料オプションのキャッシュ対策及び URL コンバーターをご利用の場合を除く。)
3. PDF ファイルの総ページ数
4. PDF ファイルのファイルサイズ
5. Adobe® Reader のバージョン
6. Adobe® Reader か Acrobat Pro かどうか
7. プリンターチェックに成功しているかどうか
8. 印刷時のパスワード認証に成功しているかどうか
9. 印刷イベントが起きた Unix タイムスタンプ(1970 年 1 月 1 日からのミリ秒)

です。その他、ブラウザ名、IP アドレス、セッション ID などは当然お客様プログラムで取得できるでしょうし、アクセス者の氏名や社員 ID など場合によって取得できるかもしれません。

●取得できないもの

1. 何ページから何ページを印刷したか？(PDF ファイルの総ページ数は取得できますが、実際に全部印刷したのか、一部だけ印刷したのか分かりません。)

2. 何部印刷したか？
3. **(重要)**実際に印刷したか？ キャンセルボタンを押して途中でやめたかなどは分かりません。また、プリンターの電源が入っていなかったり、紙が実際に入っていないくて結局印刷できなかったということもあるかもしれませんが、一切分かりません。
4. カラー印刷だったのか白黒印刷だったのか？（カラー印刷を禁止する方法はなくはないですが。）

●取得(実装)しようと思えば取得(実装)できるが、現時点では取得(実装)していないもの(要検討)

1. 何回目の印刷か？（一度の印刷アクションで何部印刷したかは分かりませんが、これが何回目の印刷かは一応は取得できます。これを応用すれば1回 だけしか印刷を許可しないなどもできそうですが、前述のように実際には印刷しなかった場合やできなかった場合の検出ができないため、混乱・トラブルが必至 だと思いますので、実装していません。）
2. PDF 文書のタイトルやサブタイトル、作成者など。
3. 印刷時全てでログを取得するのではなく、機能1のプリンター限定機能で禁止されているプリンター(プリンタードライバー)での印刷を検出した場合や、機能2のパスワード機能で間違っている場合など特定の場合に限定することも可能ですが、実装していません。
4. 特定のページのみ印刷を許可すること。逆に特定のページのみ印刷を禁止すること。

4. 「(機能1) 許可するプリンターを限定する」の補足説明

印刷を許可している PDF の場合、通常、その PDF を PDF 作成用のプリンタードライバーを使って「印刷」すると、もともとテキストや画像のコピー禁止などの入ったセキュリティ付き PDF であったとしても、そのようなセキュリティは（意図的に）無視されて「ただの PDF」になってしまいうケースがございます（一部行儀のいい「Adobe PDF」などのプリンタードライバーを除く）。

本機能では、実際に印刷される前にプリンター（プリンタードライバー）をチェックし、許可されていないプリンターの場合は、対策を施しています。

Canon 社や Epson 社のプリンターのような物理的なプリンターの場合のみ OK として、PDF 作成ソフト関連のプリンタードライバーでの印刷は禁止できます。

（仕様・御注意事項）「出力するプリンターを限定する機能」をご利用で、許可していないプリンター（プリンタードライバー）で印刷しようとしていた場合、ユーザーがキャンセル しない限り、印刷自体はなされます。ただし、許可されていないプリンターの場合、PDF コンテンツが書き換えられますので、出力されるのはエラーメッセージ か空白ページになります。

5. 「(機能2) 印刷の前にパスワードを入力させる機能」の補足説明

パスワードは半角英数字 20 文字までです。全角文字は使えません。

（仕様・御注意事項）「印刷時にパスワードを求める機能」をご利用の場合、パスワードが間違っている場合、エラーメッセージ（アラート）は表示されますが、印刷自体はなされます。ただし、パスワードが間違っている場合は、PDF コンテンツが書き換えられますので、出力されるのはエラーメッセージ か空白ページになります。

6. 「(機能 3) 印刷イベント終了後、ログ取得ページに飛ぶ」の補足説明

本機能は WEB サーバでご利用の場合のみ動作します。**ファイルサーバやローカルでのご利用の場合、この機能はご利用になれません。**

「印刷時にログを取得する機能」で、AJAX のように、画面遷移なしで行うことも技術的には可能ですが、下記の場合に限ります。

HTML モードを併用されていて、かつ、有料オプションの擬似ツールバー機能をご利用の場合で、かつ有償カスタマイズをさせていただいてはじめて可能です。

(仕様・御注意事項)「印刷時にログを取得する機能」をご利用の場合、仮にユーザーが印刷を途中でキャンセルした場合でも、ログ取得ページに転送されます。ユーザーがキャンセルしたかどうかは取得できません。

▼ 各パラメータの説明

p= (プリンター名) &f= (PDF ファイルのファイル名) &n= (PDF ファイルの総ページ数) &s= (PDF ファイルのファイルサイズ) &v= (Adobe® Reader のバージョン) &t= (Adobe® Reader のタイプ。Reader か Pro か) &pf= (プリンターチェックで印刷を許可されているかどうか) &pw= (パスワード認証に成功しているかどうか) &t2= (印刷イベントが起こったタイムスタンプ)
(上記の順番でパラメータが渡ってくるわけではありません。)

1) p=プリンター名/プリンタードライバー名

プリンター名には日本語が含まれている場合があります。日本語は UTF-8 でエンコードされています。

2) f=PDF ファイルのファイル名

セキュリティ上の理由から、有料オプションのキャッシュ対策及び URL コンバーターをご利用の場合を除きます。現状、PDF ファイルの総ページ数やファイルサイズの情報から特定していただけますと幸いです。なお、まだ実装はしていませんが、全ての PDF ファイルのメタ情報に PDF のタイトルやサブタイトルを設定されている場合は、それらの情報もパラメータで渡すことは可能です。

3) n=PDF ファイルの総ページ数

印刷したページ数のことではありません。1 ページ目だけ印刷した場合でも、取得できるのは総ページ数だけです。

4) s=PDF ファイルのファイルサイズ

単位はバイトです。必要に応じて KB や MB に変換して下さい。

5) v=Adobe® Reader のバージョン

6) t=Adobe® Reader のタイプ

Adobe® Reader の場合は「Reader」。Acrobat® Pro の場合は「Exchange-pro」という値になります。

7) pf=機能 1 のプリンターチェックで印刷を許可されているかどうか

//pf=0 → 問題なし

//pf=1 → プリンターチェックでひっかかっている。

//pf=2 → そもそもプリンターチェックをしていない

プリンター名（プリンタードライバー名）からほぼ自明ですが、デバッグ目的でご利用ください。ただし、ログ取得ページのアクセスは単純な GET になっていることもあり、URL 内のパラメータ内の改ざんや手動変更も比較的容易です。ですから、たとえば、目的は不明ですが、パラメータを改ざんして、いかにもプリンター判定がバグっているように見せかけるようなことをする人もいるかもしれません。

8) pw=機能 2 のパスワード認証に成功しているかどうか

//pw=0 → パスワード正解

//pw=1 → パスワードエラー

//pw=2 → そもそもパスワード設定していない

9) t2=印刷イベントが起こったタイムスタンプ

ログ取得ページへのアクセスは GET になります。ですから、ユーザーのブラウザの履歴に残っているため、実際にはついさっき印刷したのではなくて、過去の印刷時にアクセスしたページをまたアクセスしている可能性もあります。それを見分けるためには、「印刷イベントが起きた Unix タイムスタンプ(1970 年 1 月 1 日からのミリ秒)」を取得できますから、それと PHP などのサーバサイドプログラムで取得した現在時間との比較で、時間がたちすぎているかご確認ください。

なお、このタイムスタンプはユーザーの PC の時計に基づきますので、サーバの時計との間で誤差（逆転現象など）もありえます。

PHP で作成した弊社サンプルは、

http://www.pdf-nosave.com/manual/print_plus/print_log_sample.zip

からダウンロードしてください。

下記が PHP での出力サンプルになりますが、DB に登録するだけで画面に何も表示させないようにすることはもちろん可能です。

印刷ありがとうございます

ホストアドレス: [REDACTED]nt.ne.jp

ご利用のプリンター: Canon iP2700 series

PDFファイルのファイル名: pdf_print_plus_ns.pdf

PDFファイルの総ページ数: 7
(印刷されたページ数とイコールとは限りません。)

PDFファイルのファイルサイズ: 879.9KB

ご利用のブラウザ: Mozilla/5.0 (Windows NT 6.1; WOW64; rv:42.0) Gecko/20100101 Firefox/42.0

Adobe® Readerのバージョン: 15.00920077 (Reader)

Unixタイムスタンプ (JavaScript): 1449024564

現在の日時 (PHP): 2015-12-02 11:49:37 (1449024577)

- プリンターチェックで問題なしと判断されました。
- 印刷時のパスワード認証に成功されています。

※ 15秒後に元のページに戻ります。

サンプル

7. 動作環境について

Adobe® Reader もしくは Acrobat® (Professional 版もしくは Standard 版) のみで動作します。

Google Chrome 内蔵の PDF ビューアでは動作しませんので、AJ モード単独でご利用いただく場合は、Google Chrome の Chrome PDF Viewer をサポートしない設定にいただくことをお勧めします。

また、HTML モードと併用される場合は、HTML モードの設定にて Google Chrome では印刷を許可しない設定をしていただくことを強くお勧めします。また、pdf.js を使った PDF 表示 (Microsoft Edge や Mac 版 Firefox など) でも Acrobat JavaScript は全て無視されますので、pdf.js を使った PDF 表示の場合は HTML モードの設定で印刷を禁止する設定にしてください。

機能 1 (プリンターチェック機能) に関しましては、Windows 限定機能になります。Mac ではチェックそのものをいたしません。機能 2 や機能 3 は Mac でも動作します。

iPhone や Android 版の Adobe® Reader では、Acrobat® JavaScript をサポートしていませんので動作しません。

なお、WEB サーバだけではなく、機能 3 のログ取得機能を除いて、ローカルでも動作します。

8. AJ モード単独でご利用の場合の設定方法について

- a. ステップ1で「AJ モード単独でご利用」を選んでください。

保存対策用Acrobat® JavaScriptに関する設定ファイルの作成

1 / 5 ステップ

過去の設定ファイルを読み込む

1-1. 製品構成について 必須

☒ AJモード単独でご利用 ☐ HTMLモードを併用する

※ PrintScreenキー対策をご希望の場合には、姉妹商品のHTMLモード(HTMLモードの体験版は[こちら](#)からダウンロードしていただけます。)を必ず併用してください。HTMLモードとは、HTMLとJavaScriptの力でPDFをそもそも保存できないようにするための製品です。AJモードだけでなく、HTMLモードを併用していただく、保存対策が二重化されるとともに、動作可能環境も大きくなります。

▼動作可能ブラウザ(最大)について(確認)

Windows:



Mac:



AJモード単独では、Microsoft EdgeやMac版Firefoxでは動作しません(エラーメッセージのみ表示され、PDFコンテンツを表示させることはできません)。

- b. ステップ3で「プランセス PDF 印刷 Plus」の設定を行ってください。

- c. ステップ4で Google Chrome に関する設定を下記のように行ってください。

「Chrome PDF Viewer での閲覧を禁止する」を選んでください。

4-3. Google Chrome内蔵のChrome PDF Viewerへの対応について

Google Chromeでは、標準(デフォルト設定)で「Chrome PDF Viewer」という内蔵のPDFビューアで閲覧できるようになっています(2015年9月5日現在の最新バージョンは45です)。これは、Adobe® Readerがインストールされている端末でも同様です。Google Chrome利用者の場合、Adobe® Readerで閲覧することはできません。

そのため、Chrome PDF Viewerをサポートする設定にしていただかないと、全ネットユーザーの約10%の方に対してエラーメッセージを表示することになってしまいます。

☐ Chrome PDF Viewerでの閲覧も許可する。
[Google ChromeのChrome PDF Viewerをサポートされたい場合は、ご利用時のご注意事項・詳細を必ず一度はお読みください。](#)

バージョン44以下のGoogle Chrome(Google Chromeは基本的に強制アップデートですので、基本的にありません。)であった場合は、下記のエラーメッセージを表示します。

Google Chromeを最新版にアップグレードしてください。

もしくは、Windowsユーザーの方は、Internet ExplorerかFirefoxでアクセスしてください。Macユーザーの方は、Safari + Adobe Readerでアクセスしてください。

☒ Chrome PDF Viewerでの閲覧を禁止する

Chrome PDF Viewerでアクセスされた場合のエラーメッセージ:

Google Chrome内蔵のChrome PDF Viewerでは表示できません。Windowsユーザーの方は、Internet Explorerでアクセスしてください。Macユーザーの方は、Safari + Adobe Readerでアクセスしてください。

www.pdf-nosave.com says: のページ

Google Chromeを最新版にアップグレードしてください。

もしくは、Windowsユーザーの方は、Internet ExplorerかFirefoxでアクセスしてください。Macユーザーの方は、Safari + Adobe Readerでアクセスしてください。

Sample OK

Google Chrome内蔵のChrome PDF Viewerでは表示できません。Windowsユーザーの方は、Internet ExplorerかFirefoxでアクセスしてください。Macユーザーの方は、Safari + Adobe Readerでアクセスしてください。

www.pdf-nosave.com says: のページ

Google Chrome内蔵のChrome PDF Viewerでは表示できません。Windowsユーザーの方は、Internet ExplorerかFirefoxでアクセスしてください。Macユーザーの方は、Safari + Adobe Readerでアクセスしてください。

Sample OK

<< メニューに戻る

© 株式会社プランセス 2012-2015

一つ前のステップに戻る

なぜなら、Chrome PDF Viewer の Acrobat® JavaScript のサポートは限定的であり、「プランセス PDF 印刷 Plus」が全く動作しないためです。パスワード入力なしで印刷できますし、プリンターが何であっても印刷できます。また、ログの取得はできません。

ですから、AJ モード単独でご利用の場合は、Chrome PDF Viewer での閲覧は禁止して、IE や Firefox、もしくは Mac 版 Safari で閲覧してもらうように促す必要があります。

9. HTML モードと併用してご利用の場合の設定方法について

a. AJ モードのステップ 1 で「HTML モードを併用する」を選んでください。

保存対策用Acrobat® JavaScriptに関する設定ファイルの作成

1 / 5 ステップ

過去の設定ファイルを読み込む

1-1. 製品構成について 必須

☐ AJモード単独でご利用 ☒ HTMLモードを併用する

※ PrintScreenキー対策をご希望の場合には、姉妹商品のHTMLモード(HTMLモードの体験版は[こちら](#)からダウンロードしていただけます。)を必ず併用してください。
HTMLモードとは、HTMLとJavaScriptの力でPDFをそもそも保存できないようにするための製品です。AJモードだけでなく、HTMLモードを併用していただくと、保存対策が二重化されるとともに、動作可能環境も大きくなります。

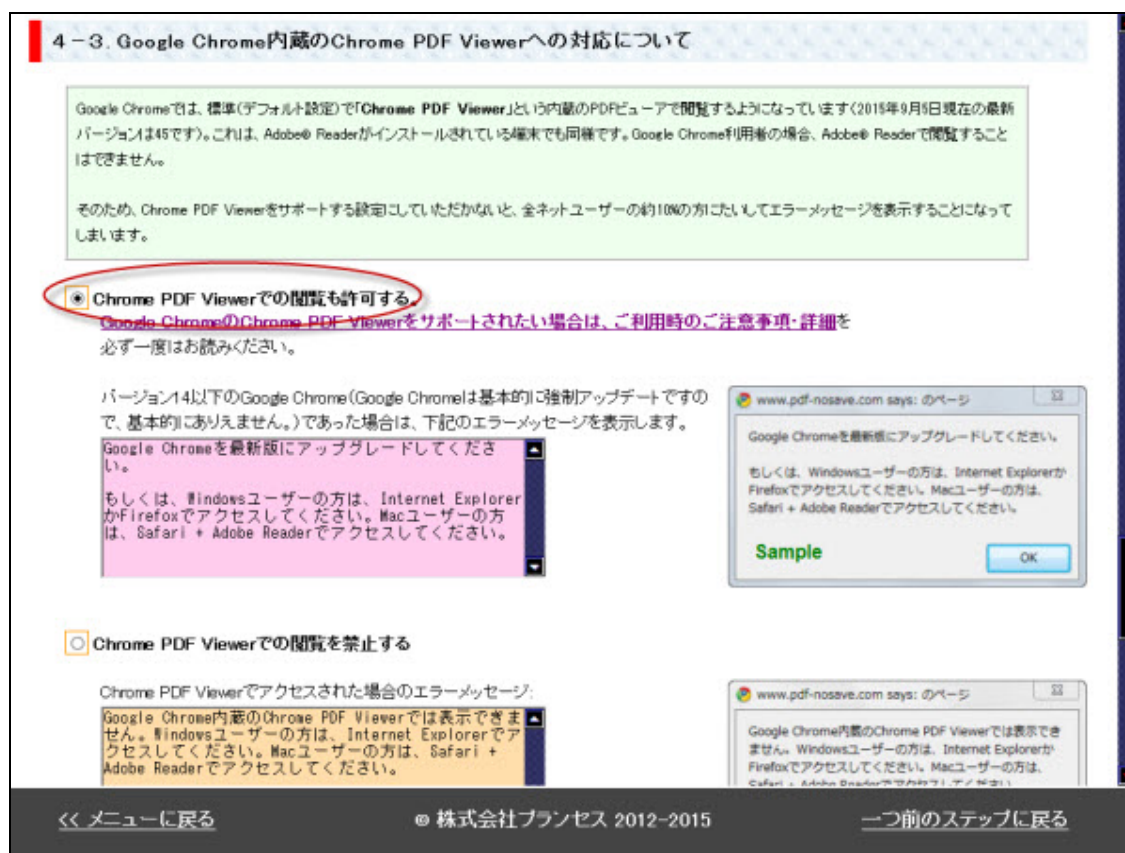
▼動作可能ブラウザ(最大)について(確認)

Windows:	   	<u>HTMLモードを併用</u>される場合、PC環境におきましてはほとんどの環境で動作しますが、Androidに関してはα版の扱いとなっていますので、御注意ください。 なお、<u>HTMLモード単独</u>でご利用の場合も、左の一覧と全く同じになります。増減はありません。
Mac:	  	
iOS:	 	
Android:	 	

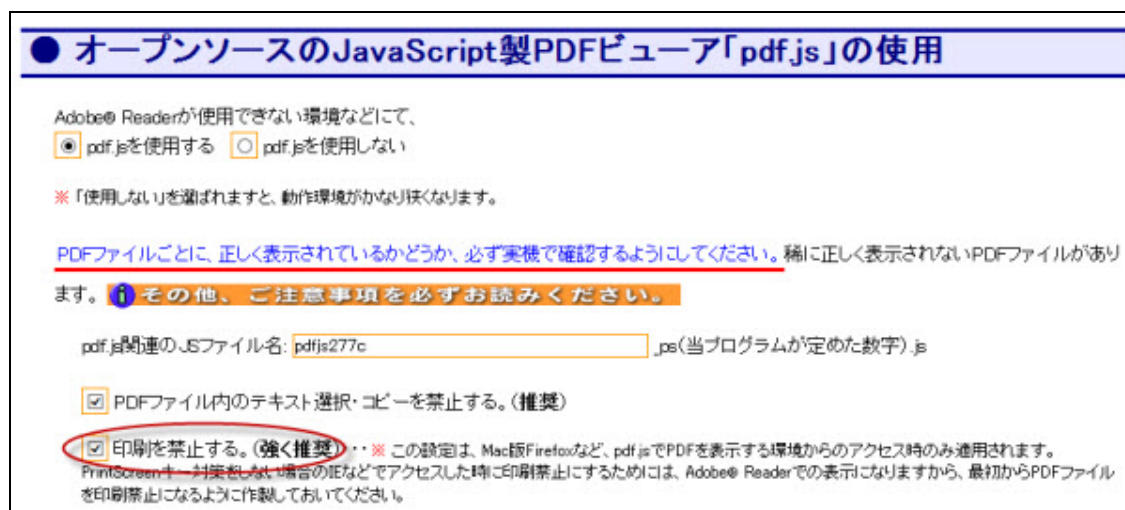
[メニューに戻る](#) © 株式会社プランセス 2012-2015 [一つ前のステップに戻る](#)

b. AJ モードのステップ 3 で「プランセス PDF 印刷 Plus」の設定を行ってください。

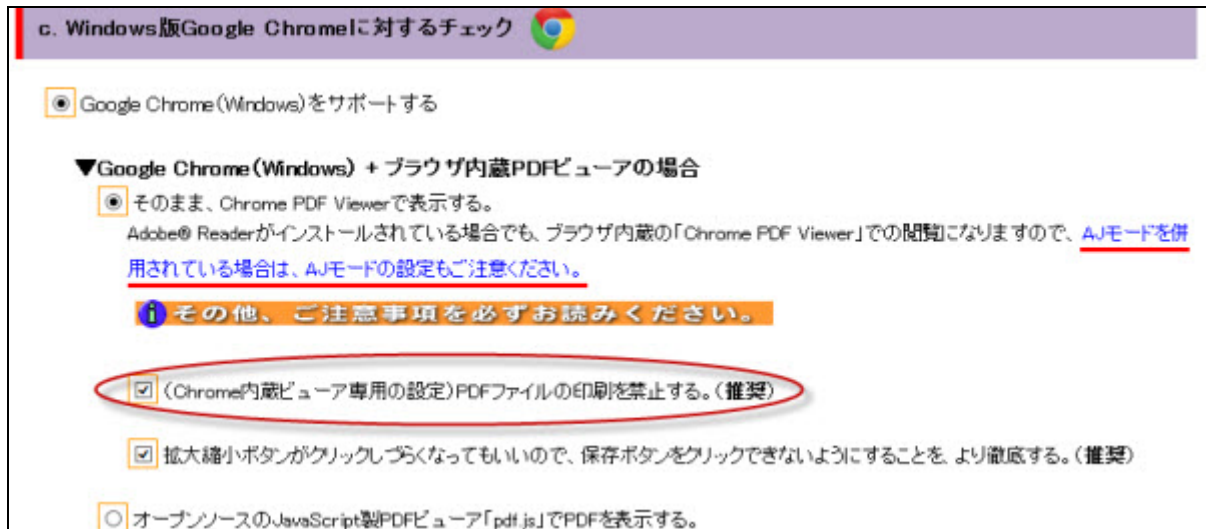
- c. AJ モードのステップ 4 で Google Chrome に関する設定を下記のように行ってください。
「Chrome PDF Viewer での閲覧を許可する」を選んでください。



- d. 続いて、**HTML モードのステップ 2** で pdf.js に関する設定で「印刷を禁止する」に設定してください。「プランセス PDF 印刷 Plus」が動作するのは Adobe® Reader もしくは Acrobat で閲覧しているときのみですから、pdf.js で PDF が表示されている場合は、印刷を禁止すべきです。pdf.js で表示している場合、印刷を許可するとパスワードなしで印刷できます。プリンターのチェックも行えません。



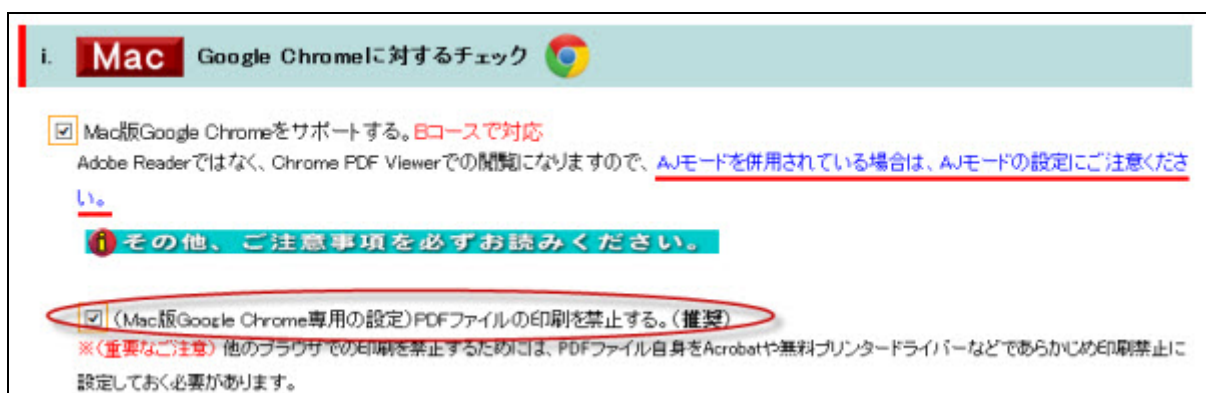
- e. **HTML モードのステップ 3**で Windows 版 Google Chrome に関する設定を下記のように行ってください。「**(Chrome 内蔵ビューアの設定) PDF ファイルの印刷を禁止する**」をチェックしてください。



なぜなら、Google Chrome 内蔵の Chrome PDF Viewer の Acrobat® JavaScript のサポートは限定的であり、「プランセス PDF 印刷 Plus」が全く動作しないためです。パスワード入力なしで印刷できますし、プリンターが何であっても印刷できます。また、ログの取得はできません。

ですから、Google Chrome では印刷を禁止しなければなりません。AJ モード単独でご利用の場合、Adobe Reader では印刷を許可して Chrome PDF Viewer では禁止するという設定はできませんので、結局、AJ モードの設定で Chrome PDF Viewer での閲覧自体を禁止する必要がありましたが、HTML モードとの併用の効用により、閲覧自体は許可することが可能になります。ただし、印刷は許可できませんので、上記設定を行ってください。

同様に、HTML モードのステップ 3 で Mac 版 Google Chrome でも印刷を禁止するように設定してください。



- f. ユーザーには、印刷したい場合は、IE か Firefox、Mac 版 Safari でアクセスするように別途促してください。

もしくは、このような中途半端な対応を嫌われる場合は、HTML モードのステップ 3 の設定で Windows 版 Google Chrome 及び Mac 版 Google Chrome の設定で同ブラウザをサポートしない設定にしてください。

10. その他御注意事項

a. たとえ、紙に出力するプリンターに限定したとしても、プリントアウトした用紙をスキャナーでスキャンして PDF 化することは可能ですから、保存対策を最優先させたい場合は、印刷を禁止すべきです。どうしても印刷を許可すべき要件がある場合に、この「プランセス PDF 印刷 Plus」をご利用ください。

b. HTML モードを併用される場合は、基本的には印刷は PDF 上での右クリックからになります。それがユーザビリティ上問題がある場合は、有料オプションの擬似ツールバー:

http://www.pdf-nosave.com/semi_toolbar.html

のご利用をご検討ください。

11. よくある質問

http://www.pdf-nosave.jp/saj/faq/faq_print_plus_saj.html

を参照してください。

12. サンプル

http://www.pdf-nosave.com/sample/pdf/aj/pdf_print_plus_ns.pdf

印刷用パスワードは「pdf2016」です。

13. お問い合わせ・お申し込み

お問い合わせ・お見積もりのご依頼などはサポート（ support@office.com ）にお申し付けください。また、お申し込みは、<http://www.pdf-nosave.com/regist.html> からお願いします。

プランセス PDF 印刷は、WEB でのブラウザ内表示ではなくても、普通に Adobe® Reader 内で閲覧する PDF でも印刷の制御が可能です。御社アプリケーション内の組み込みなど御相談はお気軽にご連絡ください。